YAMANASHI PREFECTURAL UNIVERSITY

GRADUATE SCHOOL OF NURSING

公立大学法人
山梨県立大学
Yamanashi Prefectural University

大学院 看護学研究科

2024年度 大学院案内

Contents

P01　ごあいさつ
P02　教育理念・目的
P03　博士前期課程のカリキュラム
P04　博士前期課程の履修について
P05　博士前期課程の専門分野
P06　博士前期課程修了後の進路
P07　大学院ってこんなところ！
P09　博士前期課程で学ぶQ&A
P10　インフォメーション（博士前期課程）
P11　博士後期課程のカリキュラム
P12　博士後期課程在院生からのメッセージ
P14　インフォメーション（博士後期課程）

» Salutation

ごあいさつ

未知の課題にも柔軟に対応できる高い洞察力を育む

学長
早川　正幸

山梨県立大学の大学院看護学研究科では、看護実践の場や高等教育機関において、卓越した教育・研究能力を発揮する高度専門職業人や教育指導者の養成を目指しています。複雑に変容し、予測が困難な現代社会では、未知の課題にも果敢に対峙して解決に導き、そこに新たな価値を創出できる先導者が求められます。大学院での学びと研究を通じ、最先端で高度な専門知識のみならず、物事の本質を見抜く高い洞察力と価値創造力を養い、その成果を看護実践現場で活かすことができる牽引者とならんことを期待します。

大学院看護学研究科長
米田　昭子

高度看護実践者の育成を目指します

山梨県立大学大学院看護学研究科は、平成14年に修士課程を開設し、130名を超える修了生を輩出し、令和３年からは、博士前期課程、博士後期課程、５年一貫の教育課程になりました。

今後、ますます複雑かつ多様化する社会に応答し、保健・医療・福祉の現場における諸課題を解決していくために看護実践の知を確かなものとし、実践現場に還元できるよう、教員と学生が相互に学び合い、討議し、看護追究していきたいと思います。

どうぞ、皆さん、知識、技術の創造、成長を目指して、一歩を踏み出してください。

太陽の輝く山梨で、看護を語り合うことを楽しみにしています。

» Educational Philosophy, Purpose

教育理念・目的

看護学の理論および応用を教授研究し、その深奥をきわめて文化の進展に寄与するとともに、高度専門職業人、看護学教育者および看護学研究者等の人材を育成し、もって人々の健康と福祉の向上に寄与することを目的とします。

博士前期課程

博士前期課程の教育目標

1. 看護の特定分野における卓越した看護実践能力を育成する。
2. 保健医療福祉の連携・協働を促進するための総合的な調整能力を育成する。
3. 看護サービスの質向上のための教育的役割が果たせる能力を育成する。
4. 看護実践の質向上に寄与する研究に必要な基礎的な能力を育成する。

博士前期課程

修業年限：2年
学位：修士（看護学）
【定員10名】

こういう人を求めています

・看護学の学修及び看護の実践から生じた問題意識を持ち、大学院で学修・研究する明確な意思と、そのための必要な学力がある人。
・看護実践の開発・改善に向けて学究的に取り組もうという意欲を持った人。
・看護学と看護実践を高く価値づけ、看護界のリーダーとして活動する意欲を持った人。

カリキュラムの特色

本研究科は、看護の各専門分野の高度看護実践者、看護学教育者、看護学研究者を育成するために、専門看護師コースと研究コースを置き、高度な実践能力と実践の場における研究能力、及び看護の理論とその構築について探求できるように教育課程を編成します。

博士後期課程

博士後期課程の教育目標

1. 高度看護実践者として、看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革を志向した研究が実施できる能力を育成する。
2. 高度看護実践者として、看護実践の知の体系化と発展に寄与する研究を自立して実施できる能力を育成する。
3. 高度看護実践者として、高度な看護実践力と研究力を基盤に、専門的知識・技術と教育指導力をもって質の高い教育を展開できる能力を育成する。

博士後期課程

修業年限：3年
学位：博士（看護学）
【定員3名】

こういう人を求めています

・看護実践や保健医療の改革を志向し、論理的思考と柔軟な発想力を有している。
・基礎的な研究能力を有し、自立して研究に取り組む意欲を有している。
・質の高い看護実践者、看護教育者を強く志望しており、博士後期課程における学修の基盤となる専門知識・技術ならびに看護指導力を有している。
・看護学の発展に必要な学際的な交流ができるコミュニケーション力や関係構築力を有している。

カリキュラムの特色

臨床開発看護学・地域包括ケア看護学・母子育成看護学の各科目における看護実践の探究だけでなく、3つの領域を相互に連関させながら学ぶことで広域的な視座から新たな看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革に向けた実践看護学を創造・発展させることを目指しており、科目構成は、共通科目・専門科目・演習科目・研究科目となっています。

» Curriculum

博士前期課程のカリキュラム

【研究コース】

共通科目（必修）

看護学研究法（２単位）・研究倫理特論（１単位）

共通科目（選択科目）または主専門分野以外の専門分野の科目から８単位以上修得すること

理論看護学、看護政策学、看護倫理学、看護継続教育論、看護管理論、
コンサルテーション、療育相談論、地域環境保健論、病いの社会学的現象論、
看護統計学、臨床薬理学、フィジカルアセスメント、病態生理学
（各２単位）

専門分野科目
主専門分野の科目から２０単位を修得すること

基礎看護学／地域看護学／在宅看護学／精神看護学／老年看護学／慢性期看護学／
急性期看護学／助産学／小児看護学／感染看護学／がん看護学／看護管理学
特論Ⅰ～Ⅳ：各２単位　　演習：４単位　　特別研究：８単位

【専門看護師コース】

共通科目（必修）

看護学研究法（２単位）・研究倫理特論（１単位）

共通科目（選択科目）または主専門分野以外の専門分野の科目から１２単位以上修得すること
ただし＊印の科目から６単位以上、◎印の科目から６単位以上修得すること

＊理論看護学、＊看護政策学、＊看護倫理学、看護継続教育論、看護管理論、
＊コンサルテーション、療育相談論、地域環境保健論、病いの社会学的現象論、
看護統計学、◎臨床薬理学、◎フィジカルアセスメント、◎病態生理学
（各２単位）

専門分野科目
主専門分野の科目から２６単位を修得すること

在宅看護学	慢性期看護学	急性期看護学	感染看護学	がん看護学
特論Ⅰa～Ⅴa：各2単位 演習Ⅰa・Ⅱa：各2単位 実習Ⅰ・Ⅱ：各2単位 実習Ⅲ・Ⅳ：各3単位 特定課題研究：２単位	特論Ⅰa～Ⅳa：各2単位 演習Ⅰa～Ⅲa：各2単位 実習Ⅰ～Ⅴ：各2単位 特定課題研究：２単位	特論Ⅰa～Ⅳa：各2単位 演習Ⅰa～Ⅲa：各2単位 実習Ⅰ・Ⅱ：各4単位 実習Ⅲ：２単位 特定課題研究：２単位	特論Ⅰa～Ⅴa：各2単位 演習Ⅰa・Ⅱa：各2単位 実習Ⅰ・Ⅱ：各3単位 実習Ⅲ・Ⅳ：各2単位 特定課題研究：２単位	特論Ⅰa～Ⅲa：各2単位 演習Ⅰa～Ⅳa：各2単位 実習Ⅰ～Ⅲ：各2単位 実習Ⅳ：４単位 特定課題研究：２単位

※ 研究コース・専門看護師コースともに年度によって開講しない分野があります。

博士前期課程の履修について

【入学から修了までの基本プロセス】

■ 研究コース（2年）

1年次			2年次	
4月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
入学 履修登録	前期科目履修 特別研究の文献検討 研究計画立案	後期科目履修 研究計画作成 研究計画発表（2月）	研究倫理審査 データ収集	修士論文作成 論文提出（1月） 修論審査 修論発表（2月）

■ 研究コース（長期履修3年）

1年次			2年次	3年次
4月	4月～9月	10月～3月		
入学 履修登録	前期科目履修 特別研究の文献検討 研究計画立案	後期科目履修 研究計画作成	研究倫理審査 データ収集 研究計画発表（9月）	修士論文作成 論文提出（1月） 修論審査 修論発表（2月）

■ 専門看護師コース（2年）

1年次			2年次	
4月	4月～9月	10月～3月	4月～9月	10月～3月
入学 履修登録	前期科目履修 課題研究の文献検討 研究計画立案	後期科目履修 課題研究計画作成 CNS実習	CNS実習 課題研究計画発表（9月） 研究倫理審査	データ収集、課題研究論文作成 論文提出（1月） 修論審査 修論発表（2月）

■ 専門看護師コース（長期履修3年）

1年次			2年次	3年次
4月	4月～9月	10月～3月		
入学 履修登録	前期科目履修 課題研究の文献検討	後期科目履修 課題研究の文献検討 研究計画立案	CNS実習 研究計画作成	研究計画発表(5月)、 研究倫理審査 データ収集・課題研究論文作成 論文提出（1月）、修論審査 修論発表(2月)

【授業科目及び単位数】

科目区分		科目	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	履修方法・修了要件
共通科目	必修科目	看護学研究法	1	2		（研究コース履修方法） 1. 共通科目の必修科目から3単位を修得すること。 2. 選択する専門分野の科目から選択科目２０単位を修得すること。 3. 共通科目又は選択する専門分野以外の専門分野の科目から選択科目を８単位以上修得すること。 （研究コース修了要件） ３１単位以上を修得し、かつ修士論文の審査と最終試験に合格すること。 （専門看護師コース履修方法） 1. 共通科目の必修科目から３単位を修得すること。 2. 選択する専門分野の科目から選択科目２６単位を修得すること。 3. 共通科目又は選択する専門分野以外の専門分野の科目から選択科目を１２単位以上修得すること。 ただし＊印の科目から６単位以上、◎印の科目から６単位以上修得すること。 （専門看護師コース修了要件） ４１単位以上を修得し、かつ特定課題研究論文の審査と最終試験に合格すること。
		研究倫理特論	1	1		
	選択科目	理論看護学＊	1・2		2	
		看護政策学＊	1・2		2	
		看護倫理学＊	1・2		2	
		看護継続教育論	1・2		2	
		看護管理論	1・2		2	
		コンサルテーション＊	1・2		2	
		療育相談論	1・2		2	
		地域環境保健論	1・2		2	
		病いの社会学的現象論	1		2	
		看護統計学	1		2	
		臨床薬理学◎	1・2		2	
		フィジカルアセスメント◎	1・2		2	
		病態生理学◎	1・2		2	
専門科目	研究コース	特論Ⅰ	1		2	
		特論Ⅱ	1		2	
		特論Ⅲ	1		2	
		特論Ⅳ	1		2	
		演習	1		4	
		特別研究	2		8	
	専門看護師コース	特論、演習	1		14	
		実習	2		10	
		特定課題研究	2		2	

Specialized Field

博士前期課程の専門分野

研究コース

01 助産学

平田良江 教授

女性の生涯にわたる心身の健康維持・増進と、妊娠期から産褥期、胎児期から乳幼児期までの女性と子ども、家族にとっての安全で快適な出産と育児支援に対する高度の助産ケアができる助産師、及び助産技術・ケアの開発・発展のための研究者・教育者となる人材の育成を目指します。

02 老年看護学

渡邊裕子 教授

高齢化の急速な伸展と家族介護力の低下などにより、高齢者の療養・生活の場が多様化している。地域で生活する健康な高齢者から、加齢や疾病による生活障害のために在宅や施設で療養生活する要介護高齢者まで、本人とその家族をも含めた生活の質（QOL）の維持・向上に向けて支援ができる人材の育成を目指します。

03 小児看護学

宗村弥生 教授

小児看護学領域では、あらゆる健康レベルの子どもとその家族を対象に、成長発達や小児看護を理解し、実践するための諸理論を学びます。子どもの最善の利益を基本とした小児看護の質の向上に寄与する人材の育成を目指します。

04 地域看護学

大倉美佳 教授

地域特性に応じた、かつ予防の観点から住民主体の互助を活かした健康づくり活動を展開し、地域の健康政策を立案できるとともに、医療経済的視点から実践評価できる地域看護の実践者・研究者・教育者となる人材の育成を目指します。

専門看護師コース

05 慢性期看護学

米田昭子 教授

慢性病を持つ人やその家族が抱える複雑で解決困難な問題を的確に判断し、その人々のセルフケア支援及び、生活の質（QOL）の向上を目指した高度な看護実践者および慢性期看護の開発・発展のための研究者・教育者となる人材の育成を目指します。

06 がん看護学

前澤美代子 教授

がん患者や家族の複雑で解決困難な問題を全人的な視点で判断し、がん治療のキュアの側面とその人の持てる力を活かすケアの側面を融合し、がんとともに生きること、死に逝くときまでその人らしくすごすこと、がん患者の家族へのケアを行うことができる高度な看護実践者の育成を目指します。

07 在宅看護学

泉宗美恵 教授

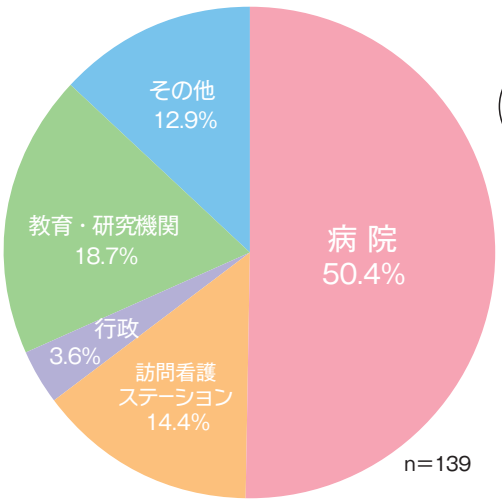
在宅におけるあらゆるライフステージにある療養者や家族の現状とニーズおよび取り巻く社会の動向を的確に捉え、人々の生活の質（QOL）向上を目指した在宅における高度看護実践力、ケアマネジメント力、先を見越した在宅ケアシステムの構築等に資する質の高い在宅看護実践者および研究者、教育者の育成を目指します。

※看護管理学、精神看護学、急性期看護学、基礎看護学、感染看護学は開講準備中です。

博士前期課程修了後の進路

◆病院に専門看護師・看護職者として勤務
◆訪問看護ステーションに専門看護師・看護職者として勤務
◆認定看護管理者の資格を有し、看護管理者として勤務
◆行政職として県や市町村に勤務
◆教員として大学や研究機関、専門学校に勤務
◆看護職として国際保健分野で活躍
◆大学院博士後期課程進学　など

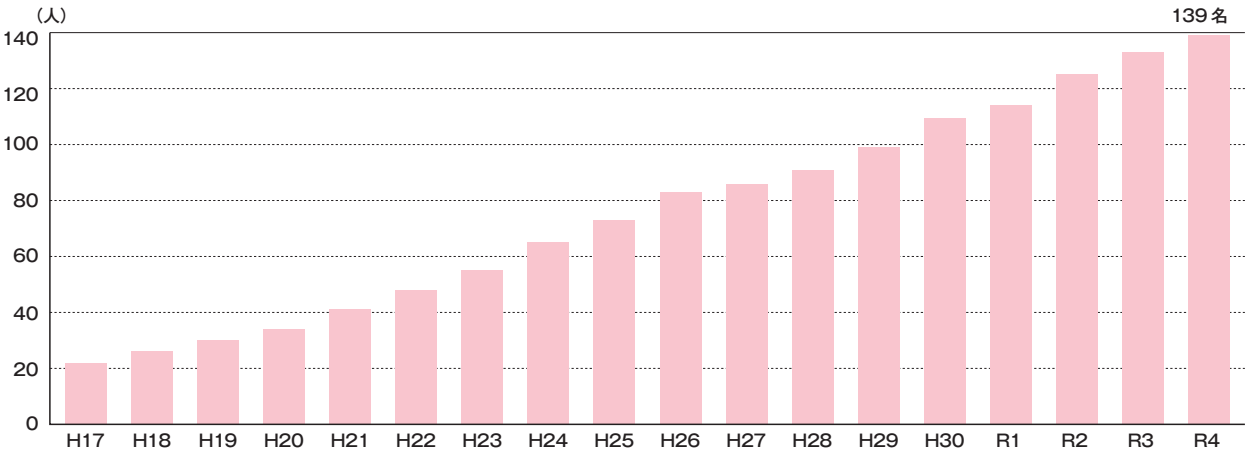
修了生の就職先



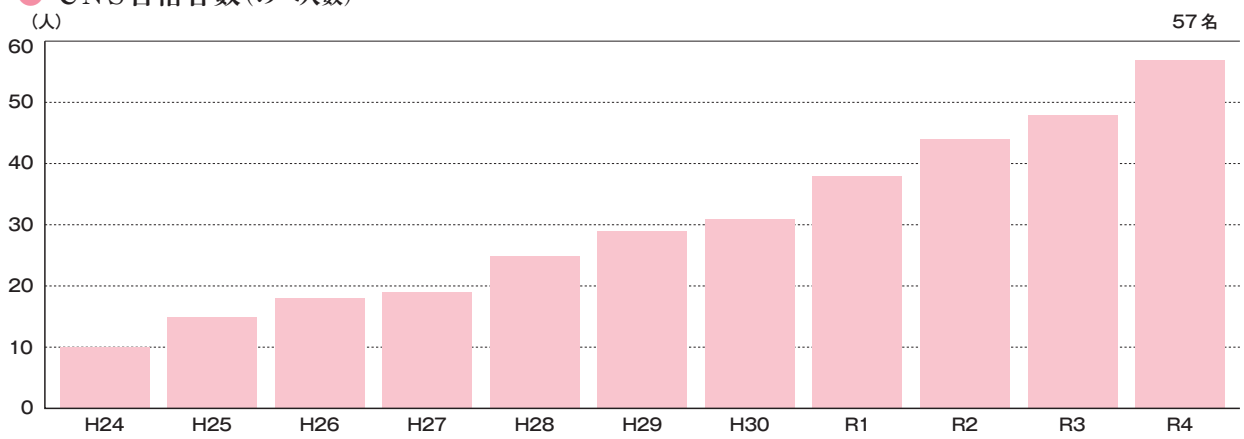
看護学研究科の修了生の就職実績です。
みなさん、それぞれのキャリアを
歩んでいます。本学の教員として
活躍されている方もいます。

病院	70人
訪問看護ステーション	20人
行政	5人
教育・研究機関	26人
その他	18人

修了者数（のべ人数）



CNS合格者数（のべ人数）



在院生が教える

大学院ってこんなところ！

大学院への進学を考えているあなたへ、先輩たちのメッセージをお届けします。

在院生からのメッセージ

学ぶことに時間を費やせる貴重な経験

博士前期課程１年（老年看護学）　塩津 裕也さん

私は認定看護師活動の中で、自身の考えを論理的に伝えることの大切さを感じ、論理的思考力を養い看護について幅広い視点で捉えたいと考え、大学院に進学しました。プレゼンテーションやディスカッションの機会が多く、これまで私が実践してきた看護を違った視点から振り返ることで新たな知見を得ることができ、新鮮で充実した時間を過ごしています。主体性や計画性が求められますが、指導教員をはじめ大学職員の方々の手厚いサポートの中で安心して学修することができています。

学ぶことの楽しさ

博士前期課程１年（地域看護学）　中山 裕子さん

私は保健師として働きながら大学院に通っています。進学を目指した理由は、根拠に基づく保健師活動を実践するため、研究を学びたいと考えたからです。私は今、学ぶことの楽しさを実感しています。特に、仲間や先生方とのディスカッションでは、多様な考えを学ぶ中で、日々新しい気づきがあります。職場の上司や同僚に感謝し、多くの人との出会いを大切に、公衆衛生看護を探究していきたいです。

学びたいときが学ぶとき

博士前期課程２年（がん看護学）　近藤 美希さん

私は論理的思考や専門知識を身につけたいと考えて進学を決めました。現在、看護の資格制度は変革期にあります。この変革の時期に看護観を見つめ直す時間は非常に貴重で、学びたいと感じた今だからこそ得られる学びがあると思います。また、多くの人からの支えを実感しながら学ぶ日々は、これからの自分自身の看護の土台となると感じています。ぜひ、学びたいという気持ちを大切にして、かけがえのない時間をつかんでください。

小児看護の魅力を伝えたい

博士前期課程２年（小児看護学）　勝俣 晴加さん

私は、母校である山梨県立大学で助手として勤務しながら、博士前期課程で学んでいます。学生に小児看護の魅力を伝えたい、伝えるためには自身が小児看護を探究することが必要ではないかと考え大学院に進学をしました。仕事との両立は大変なこともありますが、先生方からのサポートも手厚く、時には他分野の先生方からも支援を受けながら、また、様々な看護経験をもつ同期との結びつきも強く、互いに切磋琢磨しながら学んでいます。

修了生の紹介

令和５年３月
急性期看護学分野修了
東海大学医学部付属病院勤務
後藤 秀輔さん

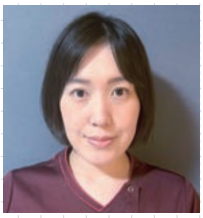
救急看護の本質を追い求めて

私は、働く中で救命救急センターにおける看護とは何か、看護の本質を追い求めて大学院への進学を決意しました。仕事と両立しながら学ぶことは辛かったですが、様々な理論やエビデンスをもとにした看護展開や卓越した看護実践などについて学ぶことができたことで、看護の視野が広がり、看護師として成長できた充実した２年間であったと思います。

令和５年３月
看護管理学分野修了
住吉病院勤務
宮川 香苗さん

学ぶ喜びと仕事の楽しさを実感

大学院では多くの文献を読み、先生方からの指導や仲間との話し合いを通じて、新たな知見を得ました。それが、今の私の看護管理実践を行う上での基盤となっています。学びを仕事に活かすことでより看護の楽しさを実感しています。今後さらに学びを深め、より良い看護管理実践の成果を出せるよう努めていこうと思います。



令和４年９月
慢性期看護学分野修了
船橋市立医療センター勤務
中山 由莉子さん

看護を語らい、向き合える場

大学院では、臨床で提供してきた看護を言語化し、理論や概念と照らし合わせることで多様な視点で事象を捉える力を養うことが出来ました。現在は病棟に所属し、糖尿病患者のその人らしさを大切にした療養支援を模索しながら、実践しています。

令和４年９月
感染看護学分野修了
山梨県立北病院勤務
廣瀬 紀子さん

在学中の学びをコロナ対策の実践に！

大学院で多くの知見を得、修士論文では高齢者施設の職員を対象とした感染対策上の課題解決に関する研究に取り組みました。修了後は、新型コロナウイルス感染症の蔓延で困窮している市中病院や高齢者施設での感染対策に大学院での学びを活用することができました。現場で必要とされている実践的なスキルを伝えることで、業務の効率化を図っています。

【修士論文テーマ　過去５年分の中から抜粋】

- 病院で働く助産師の配置転換がキャリア成熟に及ぼす影響（看護管理学）
- 急性期病院における中堅看護師の職務遂行へのプロアクティビティ（看護管理学）
- 妊娠後期及び産後１か月の母親のレジリエンスと産後抑うつ状態の関連（助産学）
- 産後１か月の初産婦の育児情報活用力と育児中の不安の関連（助産学）
- 僧帽弁置換術を受けた患者に対するICU看護師の離床への援助（急性期看護学）
- ICU看護師がARDS患者に実践する体位管理の判断（急性期看護学）
- 接触感染予防のための病床における効果的な環境清拭方法の検討（感染看護学）
- 高齢者地域の急性期中規模病院における感染症疑い患者に対する看護師の認識から得られた看護実践（感染看護学）
- 医療的ケアが必要な在宅療養児の成長発達を促す支援に関する訪問看護師の認識（在宅看護学）
- 訪問看護師の感染予防行動に影響する要因－A県内の訪問看護師への質問紙調査から－（在宅看護学）
- 早期の糖尿病性腎症患者の身体把握の様相（慢性期看護学）
- 糖尿病網膜症患者のものの見え方と見え方の変化に伴った対処 ～患者の体験を聴く、見ることを促す働きかけを通して～（慢性期看護学）
- 不眠の進行がん患者に足浴を実施したことによる睡眠感の変化（がん看護学）
- 化学療法による味覚障害に対する機能的口腔ケア実践の効果（がん看護学）

博士前期課程で学ぶ Q&A
よくある質問にお答えします！

Q.1 専門学校・短大卒業ですが、大学院に進学できますか？

可能です。入学された皆さんの多くが、専門学校・短大卒業の方々です。手続きとしては、入学試験を受ける前に、出願資格認定を受けてください。詳しくは本大学院看護学研究科HP もしくは池田キャンパス事務室（055-253-7859）に問い合わせください。

Q.2 大学院を受験したいのですが、どのようなことから始めたらよいですか？

まずは本大学院看護学研究科 HP、大学院案内等で、指導を希望する教員のプロフィールや研究業績を見て、自分が学びたい内容が学べるかどうか確認してください。そのうえで、志望分野の教員に連絡を取り事前相談したうえで、受験するかどうかを決定してください。また、オープンキャンパス等の機会に相談も行っていますのでご参加ください。

Q.3 受験前に指導教員との相談をするにはどうしたらよいでしょうか？

受験前の事前相談を推奨しております。本大学院看護学研究科 HP、大学院案内、募集要項等に掲載している志望分野の教員のメールアドレスまたは研究室直通番号で連絡・相談ができます。

Q.4 オープンキャンパスはいつ、どのようなことを行うのですか？

大学院のカリキュラムや年次スケジュール、大学院生活などについて、教員や在学生と分野ごと、または少人数で情報提供を行います。個別相談にも応じております。令和５年度は８月４日（金）、11月10日（金）を予定しています。

Q.5 働きながら学ぶことはできますか？

できます。本大学院では昼間だけでなく、夜間開講科目や土曜日の集中講義があります。必要ならば長期履修制度を利用することもできます。

Q.6 長期履修制度とは？

長期履修制度とは、職業を有している、または、育児、介護等に従事している等の事情により、標準修業年限（２年）で大学院教育課程の履修が困難と考えられる大学院生を対象とした制度です。３年間在学し、３年目の授業料は免除になります。入学手続き時に申込みが必要です。

Q.7 入学前に準備しておくとよいことは？

準備としては、職場の環境調整や勤務調整をし、進学できる体制を整えることをお勧めします。具体的な受験対策は、過去の入試問題の閲覧やオープンキャンパスで確認してください。

Q.8 英語が苦手ですが、入試の対策はどのようにすればよいでしょうか？

一般入試では試験科目に英語がありますが、辞書持ち込み可で、基礎的な読解力をみる問題になっています。中高生のテキストから慣れていくと良いと思います。過去の入試問題を閲覧することができます。社会人入試では英語の試験はありませんが、入学後に海外文献講読で必要になることがありますので、今から準備しておくと良いでしょう。

Q.9 出願手続きはどのようになっていますか？

学生募集要項を取り寄せ、受付期間や受験日を確認し、出願に必要な書類等を準備します。入学検定料は指定された金融機関で納入をしてください。書類の提出は基本的に郵送ですが、出願期間の最終日のみ窓口で受け付けています。出願受付が終了次第、受験票が郵送されます。

Q.10 入試の過去問題を見ることはできますか？

事前に本大学院池田キャンパス事務室にご連絡ください。

インフォメーション（博士前期課程）

● 入学料・授業料

		県内在住者	県外在住者
学　費	入学料	282,000円 (注1)	470,000円
	授業料	年額 535,800円 (注2)	
諸経費	入学後、教科書代、教材費、保険料等の費用が別途必要となりますが、詳細については別途通知します。		

注1）県内在住者とは入学の日の1年前から引き続き山梨県に住所を有する者をいいます　注2）授業料は前期分を5月に、後期分を11月に各267,900円を分納

● 経済支援制度

各種奨学金制度	1. 日本学生支援機構奨学金 修学困難な学生に対し、選考を経て奨学金が貸与されます。 2. 山梨県看護職員修学資金 将来、県内において看護職員の業務に従事しようとする者で看護師の免許を取得している者に対し、選考を経て修学資金が貸与されます。 ※詳細は、本学池田キャンパス事務室（TEL 055-253-7859）にお問い合わせください。

● 入試情報

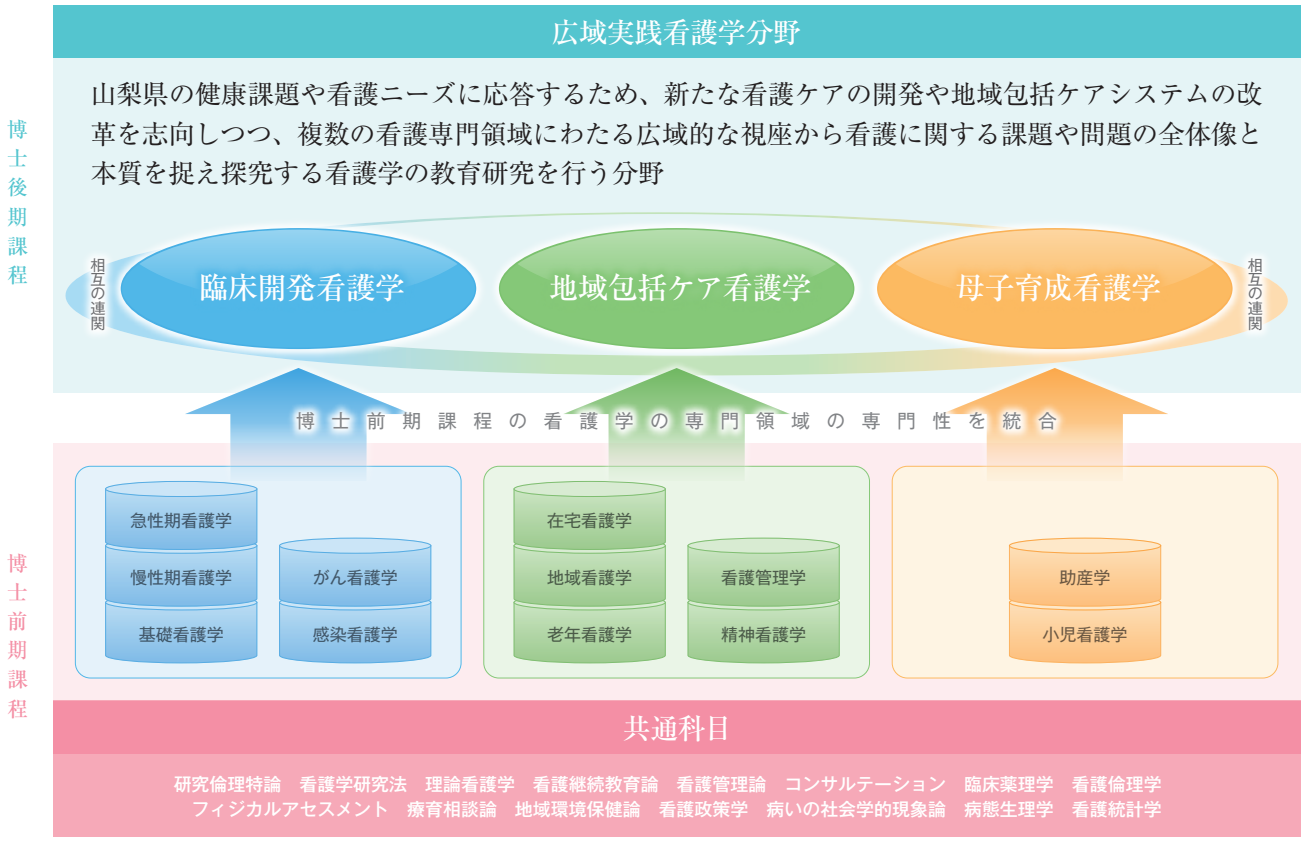
Ⅰ期入試	
出願資格認定受付期間	令和５年９月１日（金）～令和５年９月８日（金）
出願期間	令和５年９月27日（水）～令和５年10月４日（水）
入学試験日	令和５年10月14日（土）
合格発表	令和５年10月２５日（水）
入学手続期間	令和５年10月３０日（月）～令和５年11月６日（月）

Ⅱ期入試	
出願資格認定受付期間	令和５年１２月８日（金）～令和５年１２月１５日（金）
出願期間	令和６年１月４日（木）～令和６年１月１１日（木）
入学試験日	令和６年１月２４日（水）
合格発表	令和６年２月７日（水）
入学手続期間	令和６年２月１２日（月）～令和６年２月１９日（月）

※Ⅱ期募集は行わない場合がありますので、事前に問い合わせてください。

博士後期課程のカリキュラム

博士前期課程と博士後期課程との関連



● 広域実践看護学分野とは

博士前期課程の看護学分野の各専門領域の専門性を統合し、看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革を志向しつつ、複数の看護専門領域にわたる広域的な視座から看護実践に関する課題や問題の全体像と本質をとらえ探求する看護学の教育研究を行う分野です。

山梨県の課題となっている医療の分化・連携の推進、医療と介護の連携の強化、小児を含む多様化する医療・看護ニーズに応答するために、それぞれが複数の看護専門領域の専門性を統合して配置しています。

臨床開発看護学・地域包括ケア看護学・母子育成看護学の各科目における看護実践の探求だけでなく、3つの領域を相互に連関させながら学ぶことで広域的な視座から新たな看護ケアの開発や地域包括ケアシステムの改革に向けた実践看護学を創造・発展させることを目指しており、科目構成は共通科目・専門科目・演習科目・研究科目となっています。

➤ 臨床開発看護学

医療機関で短期間に治療をうける急性期・慢性期の患者・家族に対し課題解決のための新たな臨床看護実践方法を探求する科目です。

➤ 地域包括ケア看護学

予防的な視点を含み地域で生活する高齢者や療養者・家族に対する地域包括ケアシステムにおいて看護実践を探求する科目です。

➤ 母子育成看護学

人口減少に歯止めをかけ安心して育児と子どもの健やかな成長を支えるための母子への支援として、生涯を通した母子とその家族のニーズに対応した看護実践を探求する科目です。

博士後期課程在院生からのメッセージ

大学院への進学を考えているあなたへ、先輩たちのメッセージをお届けします。

障害のある子どものきょうだいと周囲との関係における課題を探求

他大学の博士前期課程修了から数年を経て、本学の博士後期課程に進学しました。前期課程での学びを基に、障害のある子どものきょうだいと、周囲の他者との関係における課題を明確にすることに取り組んでいます。何か感じていながらも、言語化・体系化されていないきょうだいの問題を明確にすることで、障害のある子ども本人だけでなく、きょうだいへの支援につながる基盤になると考えています。子ども達、子どもに関わる人々に役立つ研究としたいと思います。

博士後期課程１年（母子育成看護学）
深沢 淳子さん

博士後期課程２年（地域包括ケア看護学）
本田 理恵さん

地域包括ケアシステムの改革に向けた知の体系化を目指して

私は、高度急性期病院の看護管理者として働きながら、博士後期課程に進学し、知見を深めています。我が国の超高齢化や医療提供体制の改革により、様々な施策やヘルスケアシステム・地域包括ケアシステムの推進が求められています。本学の「地域包括ケア看護学領域」では、まさに現状や課題解決のための方略を探求しています。ご指導いただく先生方とのディスカッションはとても有意義で、探求することの楽しさを感じ、貴重な時間となっております。学びを知の体系化とし、看護実践へ貢献できるよう努めていきたいと思います。

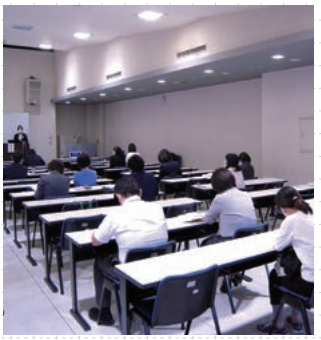
看護学の新たな知の探究を目指して

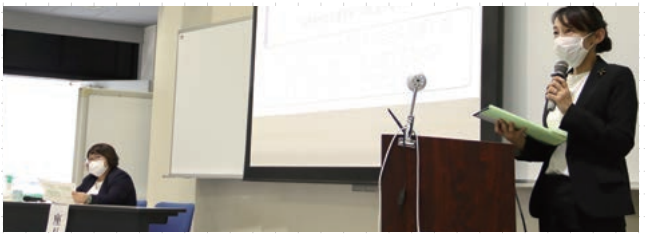
私は手術を受ける高齢患者の多様なニーズに即応した看護実践について探究したいと考え、博士後期課程に進学しました。臨床開発看護学特講では、社会情勢の動向から急性期看護の課題を多角的かつ柔軟に捉え、看護実践を変革・創造していく重要性を学んでいます。先生方や同期とのディスカッションは知的好奇心が刺激され、新たな発見も多く、改めて看護学を学ぶことの楽しさや奥深さを実感しています。職場のサポートや柔軟な時間割調整、長期履修制度等、本学の恵まれた学修環境に感謝し、課題を探究していきたいと思います。

博士後期課程２年（臨床開発看護学）
山本 奈央さん

【教育課程の構成表】

授業科目			単位数 必修	単位数 選択	履修方法及び修了要件
共通科目		研究倫理特講	2		＜履修方法＞ 共通科目（必修）６単位、専門科目（選択）２単位、演習科目（必修）２単位、研究科目６単位の合計16単位以上を修得すること ＜修了要件＞ 必要な研究指導を計画的に受けた上で博士論文と査読のある学術雑誌に掲載または掲載予定（掲載証明書を提出）の副論文１編以上を提出し、論文審査ならびに最終試験に合格すること
		看護学研究法特論Ⅰ（量的研究）	2		
		看護学研究法特論Ⅱ（質的研究）	2		
		看護政策組織特論		2	
		ケアリング特論		2	
		小　計	6	4	
専門科目	広域実践看護学分野	臨床開発看護学特講		2	
		地域包括ケア看護学特講		2	
		母子育成看護学特講		2	
		小　計		6	
演習科目	広域実践看護学分野	広域実践看護学特別演習	2		
		小　計	2		
研究科目		看護学特別研究	6		
		小　計	6		
合　計			14	10	





インフォメーション（博士後期課程）

入学料・授業料

		県内在住者	県外在住者
学　費	入学料	282,000円 (注1)	470,000円
	授業料	年額 535,800円 (注2)	
諸経費	入学後、教科書代、教材費、保険料等の費用が別途必要となりますが、詳細については別途通知します。		

注1）県内在住者とは入学の日の1年前から引き続き山梨県に住所を有する者をいいます
注2）本学大学院の博士前期課程を修了し、引き続き博士後期課程に入学する場合は入学料は全額免除となります。
注3）授業料は前期分を5月に、後期分を11月に各267,900円を分納

経済支援制度

日本学生支援機構 奨学金	修学困難な学生に対し、選考を経て奨学金が貸与されます。 ※詳細は、本学池田キャンパス事務室（TEL 055-253-7859）にお問い合わせください。

入試情報

Ⅰ期入試	
出願資格認定受付期間	令和５年９月１日（金）～令和５年９月８日（金）
出願期間	令和５年９月27日（水）～令和５年10月４日（水）
入学試験日	令和５年10月14日（土）
合格発表	令和５年10月２５日（水）
入学手続期間	令和５年10月３０日（月）～令和５年11月６日（月）

Ⅱ期入試	
出願資格認定受付期間	令和５年１２月８日（金）～令和５年１２月１５日（金）
出願期間	令和６年１月４日（木）～令和６年１月１１日（木）
入学試験日	令和６年１月２４日（水）
合格発表	令和６年２月７日（水）
入学手続期間	令和６年２月１２日（月）～令和６年２月１９日（月）

※Ⅱ期募集は行わない場合がありますので、事前に問い合わせてください。

県外からのアクセスも良好

新宿から120分
松本から　90分

池田キャンパス（看護学部・大学院看護学研究科）

〒400-0062　山梨県甲府市池田 1-6-1
TEL.055-253-7780　FAX.055-253-7781

アクセス

◎ JR 甲府駅南口バスターミナル４番のりば

- 中央病院経由双葉ニュータウン行き
  「県立大学看護学部」下車②徒歩約３分
- 長塚経由双葉ニュータウン行き
- 長塚行き
- 長塚経由敷島営業所行き
  「甲府城西高校」下車③徒歩約５分
- 中央病院行き
- 中央病院・羽黒経由山宮循環行き
  「県立中央病院」下車④徒歩約８分

山梨県立大学大学院看護学研究科HP
http://www.graduatenursing-yamanashiken.com/